

辻関 弥生さん(臨床歴11年)
ながお歯科クリニック/京都府

“歯肉炎の段階でジンジバル(歯肉の)・プラークコントロールを行えば、誰でもカンタンに健康な歯肉を取り戻すことができる”

そのことを周りの大切な人に伝え、日本から歯周病の人をなくすことができるのは、私たち歯科衛生士だけ!
この考えから始まった『Goodbye Perioプロジェクト』。
記事を読んだ全国の歯科衛生士さんから、たくさんの反響がありました!
今回はそのなかのひとり、ながお歯科クリニックの
歯科衛生士・辻関弥生さんにインタビュー。
記事を読んだときの想いと今後の意気込みをお聞きました。

「歯科衛生士として、
これやらんとあかんちゃうかな」
そんな強い想いが湧いてきたんです!

歯科衛生士として、

大切な人の口腔内も守りたい

「何で今まで家族や友人には何も伝えてへんかったのかな」
『Goodbye Perioプロジェクト』の記事を読んで、まずそう思いました。日々の診療やアクセルソン博士の講演会などで「ケアすれば歯は守れる」と学んでいるし、実際に守るための方法も知っている。フロスを提案したことで、口腔内の状態がよくなった患者さんもたくさんいます。でもなぜか身内は後回しにしてしまっていたんです。
考えてみれば、歯科衛生士として大切な人に予防方法を伝えるのは当然のこと!。歯周病罹患率80%の原因が自分にもあり、変えていく責任があるのだと気づかされました。

自分が社会に対してできるのは、
健康で幸せな人を増やしたい。

それから、訪問診療をしていたときのこととも思い出しました。歯がある人はみんな、おせんべいもリンゴも何でも噛めるから筋力も発達してて表情豊か。体も元気です。自分の歯で食事ができるってすばらしい財産なんですよ! こういう幸せな人たちを増やしていくことが、私が社会に対してできること。「歯科衛生士として、これやらんとあかんちゃうかな」と強く思いました。全国の歯科衛生士が一人ひとり周りの人にジンジバル・プラークコントロールの大切さを伝えていけば、現状は必ず変えられるはずですから。

これから産休に入って歯科医院を離れますが、歯科衛生士であることに変わりはありません。むしろ個人として活動するチャンス! 家族や友人はもちろん、周りの妊婦さんたちにもすすめるつもりです。

ジンジバル・プラークコントロールの提案によって大切な人の健康を守る。

Goodbye Perio プロジェクト メンバー募集中!

このプロジェクトは、デンタルフロスの普及・習慣化によって、日本から歯周病の人をなくすことを目指します。まずは、あなたのご家族、親戚、友達、患者さんから!
今年の目標は10万人に普及させること。一緒に健康な人を増やしていきませんか?

参加メンバーには

提案用の
フロス(ミニサイズ)を
必要な分だけ
無償提供

一般の人に
フロスの必要性が
パッと伝わる、
写真や動画などの
ツールを無償提供

メンバー同士が
自由に意見交換
できる場を提供

あなたが一人でも今すぐ行動を起こせるよう、タフトくらぶは全面的にサポートします!

参加したい方、活動内容を詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

<http://perio.tuftclub.jp/>

(参加のお申し込みは、サイトからのみとなります)

<前号の記事に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。>

P3の2段目1行目

(誤)さらに最近では、ガン・糖尿病・心筋梗塞・骨粗しょう症・認知症などにかかった人のDNAから歯周病菌が見つかったというデータが発表されています。

(正)さらに最近では、ガン・糖尿病・心筋梗塞・骨粗しょう症・認知症などにかかった人の病変部位から採取した細菌のDNAを調べると、歯周病菌が変異したものであることがわかってきました。お口の中にある歯周病菌は、血液などをとおして全身に流れていきます。その間に形を変えて、さまざまな病気を引き起こす原因になるのです。